

＜気象庁の気温計測方法＞

国土交通省

気象庁
Japan Meteorological Agency

ENGLISH > Other Languages
文字サイズ変更 標準 大

 気象庁 防災情報
 気象庁
 気象庁 知恵・防災
 気象庁 YouTube

[ホーム](#)
[防災情報](#)
[各種データ・資料](#)
[地域の情報](#)
[知識・解説](#)
[各種申請・ご案内](#)

[ホーム](#) > [知識・解説](#) > [よくお寄せいただく質問](#) > [観測機器について](#)

観測機器について

- 降水量はどのように観測しているのですか？
- アメダスが設置されていない場所での降水量は、どうしたらわかりますか？
- 気温はどこで、どのように計測しているのですか？
- 気象レーダー、ウィンドプロファイラ、ラジオゾンデとは何ですか？
- 低い雲が広がり、時々細かい雨が降っていますが、レーダーに映らないのはなぜですか？
- 高解像度降水ナウキャストやレーダー画像でリング状の強い降水域が見えますが、何ですか？

気温はどこで、どのように計測しているのですか？

気温の観測は、風通しや日当たりの良い場所で、電気式温度計を用いて、芝生の上 1.5 m の位置で観測することを標準としています。また、電気式温度計は、直射日光に当たらないように、通風筒の中に格納しています。通風筒上部に電動のファンがあり、筒の下から常に外気を取り入れて、気温を計測しています。

通風筒（この中に電気式温度計が入っています）



国土交通省気象庁ホームページより

(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/faq/faq11.html>)